

田町駅西口駅前地区

本計画は、都市再生特別地区を活用し、田町駅西口の駅前において、市街地の機能更新を図るとともに、駅前交通広場の整備や歩行者空間の拡充により、交通結節機能の強化を図るプロジェクトである。

本計画について、東京都景観審議会計画部会に対し、計2回の意見聴取を行ったところ、以下のとおり、周辺市街地との街並みの連続性を意識したデザイン、駅前としての正面性を意識したデザイン、快適な歩行者空間の形成などについて、十分な検討が求められた。

これを踏まえ、事業者において検討が進められた結果、ヒューマンスケールな界限性のある街並みと調和するデザインへの見直し、JR田町駅の正面性を意識した賑わいと華やかさのあるデザインへの見直し、交通結節拠点にふさわしい駅前広場空間の見直しなど、部会意見を踏まえた計画の見直しが図られた。

引き続き、本計画が田町駅前の交通結節拠点を形成するプロジェクトにふさわしいデザインとなるよう、これまでの経過を踏まえ協議を進めていく。

計画部会の意見を踏まえた都の見解	事業者の対応
2023/3/29 令和4年度第7回計画部会 ・既存市街地の機能更新を進めるとともに歩行者空間の拡充を図り、交通結節機能の強化を図るプロジェクトとして、周辺市街地との連携や街並みの連続性などを意識して、さらに、公共交通の利用時・乗継時の利便性の向上を図り、地域全体の魅力を高める観点で、当地区に相応しいデザインの方向性を検討されたい。	・周辺建物を意識した壁面幅で高層部を分割し、連続性ある街並みを形成するとともに、外周部高さを低く(約130m→約122m)することで圧迫感の低減に配慮した。 ・ヒューマンスケールな賑わいが集積する西口エリア独特の界限性ある街並みとの調和を意識して、繊細なPCフレームによる温かみあるデザインとした。 【別添 P 2】
・隣棟間隔が現状より狭くなることから、広がりのある駅入り口としての表情を検討するとともに、1・2階のコーナーの交差部については特段に配慮したうえで、空間をデザインされたい。	・建物の顔となる中低層部はJR田町駅前としての正面性を意識し、賑わいと華やかさのあるデザインとした。 ・1階コーナー部は西口市街地とJR田町駅の往来、および第一京浜交差点の溜まり空間としても十分な空間とすべく約2m拡幅した。 ・2階コーナー部は、賑わいの滲みだしを街から感じられるよう、店舗壁面を切り欠くことで憩いの空間を設けた。 【別添 P 3、P 5】
・東西連絡通路、交通広場、駅前広場、地下鉄との接続、及び貢献用途や周辺市街地とのつながりの観点から、歩行者にとって快適な空間となるよう計画されたい。	・交通結節点となる1階の交通広場、2階の駅前デッキ空間(建物ピロティ部)は、構造を見直すことで柱を削減し、視認性・安全性の向上に配慮した。 ・隣接の田町タワーに接続するJR側の通路は、直線的な形状に見直すことで見通しに配慮するとともに、新たに中木の列植を行うことで本芝公園に繋がる緑の連続性や快適な歩行空間の形成に配慮した。 ・駅前広場の大屋根は、空への抜け・圧迫感低減の観点からサイズを縮小し、日射と風環境

	を和らげながら来訪者を出迎える、象徴的な駅前空間となるよう見直した。 大屋根に呼応する商業底を設けることで開放感・リズム感を付加するとともに、歩行者目線での圧迫感の低減にも配慮した。 【別添 P 4、P 6】
低層部の壁面緑化等の植生については、場所や方角などを考慮したうえで、将来の維持管理のあり方も含めて計画を検討されたい。	- 商業別棟を中止し、緑地広場とすることで地上部の緑化を大幅に拡大した。賑わい及び憩いの広場として、周辺住民や来街者等に快適な空間を提供する。 - 壁面緑化については、日照シミュレーションを行い適切な植生環境となるよう計画し、樹種選定・維持管理計画も含めた検討を深めていく。 【別添 P 6】
2024/12/25 令和6年度第4回計画部会 PCカーテンウォールの外装計画については、田町駅西口の顔となる当地区にふさわしい品格と美しさのあるデザインとなるよう、ディテールまでこだわり、完成度を高められるよう更に検討を深められたい。 また、ファサードの分節化においては適切な位置・寸法および夜間景観の演出等についても十分に検討されたい。	- PCカーテンウォール外装については、ディテールの検討を深め、田町駅西口の顔となる当地区にふさわしいデザインとなるよう計画する。 - 分節表現については、圧迫感の低減のみならず、駅前拠点としての顔づくりにおいても一定の効果があるものとなるよう、寸法・色調、照明計画等の詳細検討を進めていく。
中低層部については、交通結節機能の強化を図るプロジェクトとして、歩行者動線の拡充や駅入口としての正面性のあるデザイン等に関し、一定の改善が図られた。 引き続き、田町駅への正面性を意識して、北西側コーナー部における賑わいの創出、高層部と低層部の調和や一体感等にも配慮しながら、素材・色彩計画も含め、当地区に相応しいデザインとなるよう検討を深められたい。	- 北西コーナー部は、4階交流テラス等を半外部空間とすることでまちからの視認性の高い空間とし、賑わいの創出を図る。 - 高層部と低層部の調和・一体感に配慮し、低層部カーテンウォール・柱型・軒天井等の素材・色彩計画について検討を深める。
壁面緑化については、駅前の顔となる建物低層部のデザイン上の一要素として重要であるため、立体的な緑が計画されるよう適切な植生環境であるのか検証の上、将来の維持管理計画も含め、更に検討を深められたい。	壁面緑化については、日照シミュレーションを行い適切な植生環境となるよう計画し、樹種選定・維持管理計画も含めた検討を深めていく。
今回新設された緑地広場については、歩行者動線や隣接する店舗等との関係を踏まえるとともに、JR駅施設の改良整備等とも連携し、利用者にとって居心地の良い空間となるよう検討されたい。	緑地広場については、利用者にとって居心地の良い空間となるよう、JR東日本による田町駅改修工事等との連携も含め検討を行う。